

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

館山市まち・ひと・しごと創生企業版ふるさと納税活用事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県館山市

3 地域再生計画の区域

千葉県館山市の全域

4 地域再生計画の目標

館山市の人口は、1980年代以降減少傾向にあり、2015年には47,464人となっており、住民基本台帳によると、2020年には46,161人となっている。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の推計によれば、人口減少が加速化し、2040年に35,732人に減少するものとされている。特に、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の減少が著しく、2015年時点でそれぞれ5,205人、24,640人まで減少している。一方、2040年の高齢化率は45.6%に達し、老年人口（65歳～）そのものは、2020年をピークに減少に転じるものと推計されている。

館山市の人口の自然動態（出生数－死亡数）をみると、20年以上にわたり、自然減（出生数＜死亡数）の状態にある。出生数は2000年以降減少傾向にあり、2002年には400人を超えていたが、2018年には274人まで落ち込んでいる。死亡数は増加傾向となっており、2018年には749人となっている。出生数の減少と死亡数の増加により、自然減の規模が次第に大きくなる傾向にある。なお、合計特殊出生率は、国や県と比較し高い傾向にあり、2000年以降では2011年に1.62の最高値（国：1.39、県：1.31）となっているが、結婚・出産・子育ての中心的世代を20～39歳とし、その推移をみると、男女とも長期的な減少傾向にあり、2040年には、2015年の6～7割の水準となる。このことから、合計特殊出生率の水準が将来にわたり現状程度に保たれても、出生数は大幅に減少することが予想される。

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和７年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア ウ	企業誘致件数	０件	５件	基本目標１ 基本目標３
ア イ ウ	起業・創業者数	８人	５０人	基本目標１ 基本目標２ 基本目標３
ア イ	観光入込客数	２０７．５万人	２３０万人	基本目標１ 基本目標２
ア	宿泊客数	４２．２万人	５０万人	基本目標１
ア ウ エ	移住者数	４９人	３００人	基本目標１ 基本目標３ 基本目標４
イ	直売所における農 水産物の販売額	０円	３．８億円	基本目標２
ウ エ	合計特殊出生率※	１．５４	１．６３	基本目標３ 基本目標４
ウ エ	出生数	２７４人	２２０人	基本目標３ 基本目標４
エ	介護職員初任者研 修受講費等助成金 交付対象者のうち 研修受講終了によ り介護職員に新規 就業した者	１人	１２人	基本目標４
エ	常住人口	４５，４４１人	４３，３３５人	基本目標４
エ	市民アンケート	９３．８％	１００％	基本目標４

	「災害対策を講じている市民」割合			
--	------------------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

館山市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

ア “海”の魅力に磨きをかける ～海の魅力アップ～

イ “食”の豊かさで人をひきつける ～食の豊かさアップ～

ウ “若者”の夢と希望をかなえる ～若者の元気アップ～

エ 未来に誇れる“ふるさと愛”をはぐくむ ～ふるさとへの誇りアップ～

② 事業の内容

ア “海”の魅力に磨きをかける ～海の魅力アップ～

・ “海”の魅力にさらに磨きをかけ、「館山ならではの」、「館山でしかできない」、「館山らしさ」を追求し、近隣市町と広域的な連携を図りながら広く情報発信し、多くの人々や企業を呼び込み、既存の観光産業や飲食・サービス業等のビジネスチャンスを創出・拡大するとともに、起業支援やリノベーションまちづくりにも力を入れ、新たな仕事の創出、地域経済の活性化を図る。

【具体的な事業の例】

- ・ マリンレジャー関連産業等の誘致
- ・ 海と暮らすライフスタイルの提供による移住・定住促進

- ・個性豊かな海の魅力を活かした観光振興 等

イ “食”の豊かさで人をひきつける ～食の豊かさアップ～

- ・館山の“食”の恵みを地域内で流通させる体制を構築するとともに、生産者の経営基盤を強化し、生産力・供給力の向上を図る。
- ・市民や市内事業者等へ、地域の食材・食文化に対する理解を促進し、その素晴らしさを次世代や来訪者に伝えていくことで、市民が「館山の食べ物はおいしい」と全国に誇れるまち、また、来訪者から「館山のおいしい食べ物をまた食べに行きたい」と思われるまちを目指す。

【具体的な事業の例】

- ・「食のまちづくり」による農水産業の魅力向上
- ・農業生産基盤の維持・保全
- ・農業の成長産業化支援 等

ウ “若者”の夢と希望をかなえる ～若者の元気アップ～

- ・多様な就業の場の創出、起業や創業にチャレンジする若者への積極的な支援、職業のマッチングなどにより、“若者”の夢と希望をかなえ、経済的・精神的に安定できる仕事の確保に努める。
- ・若者のアイデア・行動力を活かし、まちの活性化を図るとともに、結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、「切れ目のない」一貫した支援体制を構築し、豊かで充実した生活を送れるよう、市を挙げて若者の定住促進に取り組む。

【具体的な事業の例】

- ・“子育てがより楽しくなる”子育て支援の強化
- ・地域ではぐくむ教育環境の整備
- ・チャレンジする若い起業家・創業者への支援強化 等

エ 未来に誇れる“ふるさと愛”をはぐくむ～ふるさとへの誇りアップ～

- ・ “ふるさと館山” に対する誇りと愛着心をはぐくみ、地域の主体として市民が積極的にまちづくり・地域づくりに参加できる環境と、地域が一体となって支え合う体制を整備する。

- ・ 効率的な行政運営の実現に努めるとともに、安全・安心なまちづくり、医療・福祉の充実と健康増進活動の推進、公共交通網の構築などに継続して取り組む。

【具体的な事業の例】

- ・ 医療・介護環境の充実による健康長寿の促進
- ・ 安全・安心なまちづくりの推進
- ・ 市民スポーツの振興
- ・ 分かりやすく利用しやすい公共交通網の構築 等

※なお、詳細は第２期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

４の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1, 200, 000 千円（令和２年度～令和７年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度７月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに館山市のホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和８年３月３１日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和８年３月３１日まで